

第六十五回帝國議會
衆議院

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外三件委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和九年二月六日(火曜日)午前十時四十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 竹内友治郎君

理事小笠原三九郎君 理事金井 正夫君

理事平野 光雄君 理事中 亥歲男君

門田 新松君 増田 金作君

松實喜代太君 山口忠五郎君

山本 芳治君 豊田 收君

増田 義一君 牧山 耕藏君

小川郷太郎君 池田 敬八君

田中 貢君 野中 徹也君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏書記官 荒川 昌二君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

○竹内委員長 開會致シマス、昭和九年度

一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、昭和七年法律第一號中改正

法律案、滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ

交付スル公債發行ニ關スル法律案、此三件

ヲ議題ニ供シマス、先以テ質問カラ始メマ

ス

○平野委員 前以テ材料要求ニ付テ申上ゲ

タイノデスガ、吾々カラハ二、三要求致シ

マス、尙ホ只今要求スル以外ニ要求致シタ

イモノモアリマスケレドモ、ソレハ更ニ後

刻委員長ノ御許シヲ得テ申上ゲタイト思ヒ

マス、一ツハ、滿洲國成立以來ノ對滿投資

ノ調査ヲ願ヒマス、ソレハ國債、社債、株式

デアリマス、第二ハ、六大都市ニ於ケル銀

行ノ本店數及ビ支店數、第三ニハ、行賞賜

金ノ件デゴザイマスガ、過日大藏大臣ノ本

會議ニ於ケル説明ヲ見マス云フト、今回

滿洲事件ノ行賞賜金ハ、公債ニ依ルモノガ

四千八百七十餘萬圓、公債端金等現金ヲ以

テ交付スルモノガ五百八十餘萬圓、總額ガ

五千四百六十餘萬圓、內陸軍省ガ三千九百

九十六萬餘圓、海軍省ガ一千八十五萬餘圓、

其他ガ三百七十九萬餘圓ト云フ、相當細カ

イ計數ガ出テ居リマス、之ニ付テハ定メテ

關係各省ニ於テハ、人員其他相當ノ御調ガ

出來テ居ルト思ヒマスカラ、陸軍、海軍ニ

於テハ軍人竝ニ軍屬ノ調、內軍人ニ付テ

ハ將校何名、下士何名、兵何名、其金額、

及ビ其他三百七十餘萬圓トアリマスガ、此

內譯ノ御調ヲ願ヒタイ、若シ願ヘレバ行賞

ノ範圍、即チ勳章或ハ物品、金品ト云フヤ

ウナ内譯モ、御調査願ヘレバ材料ヲ頂戴致

シタイト思ヒマス、之ヲ要求致シマス

○竹内委員長 平野君ニ御相談致シマス

ガ、隨分細カイ材料デスカラ、今ノ點ヲ書

イテ御出シ下サイマスマイカ、サウシタラ

早速要求致シマス

○平野委員 承知致シマシタ

○竹内委員長 質問通告ノ順序ニ依ッテ小

笠原三九郎君

○小笠原委員 第一ニ御伺申シタイノハ、

昭和九年度新規公債發行ノ豫定額デアリマ

ス、私共昨日頂戴シマシタ材料ニ依リマス

ルト、一般會計ニ於テ七億八千五百餘萬圓、

特別會計ニ於テ約九千五百餘萬圓、合計八

億八千餘萬圓ト云フノガ豫定サレテ居ルノ

デアリマスガ、此外ニ追加豫算及ビ交付公

債等ニ依リマシテ、一般會計及ビ特別會計

ニ於テ尙ホ相當増額シ、結局九億圓ヲ突破

スルノデハナイカト考ヘルノデアリマスル

ガ、之ニ對スル政府ノ御見込ハ如何デアリ

付託議案

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)
滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
大藏省預金部特別會計法中改正法律案(政府提出)

マセウカ、目下御審議中ニナッテ居ル農林關係ノ豫算ナドモマダ金額ガ決定シナイヤウデアリマスカラ、御明示ニナルコトハ困難デアラウト存ジマスガ、其他ノ點ニ付キマシテ凡ソノ見込ガ立ッテ居ルナラバ、一般會計及ビ特別會計ニ分ケテ、一般募集公債及ビ交付公債等ノ内容ヲ承知シタイト思フノデアリマス

○荒川政府委員 只今小笠原サンカラノ御尋デゴザイマスガ、昭和九年度ニ於キマシテ新規ニ公債ヲ幾ラ募集スルカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ拜聴致シマシタガ、一般會計ニ付キマシテハ、確カ御手許ニ差上ゲテアル數字ト思ヒマスガ、先程御話ノ通り七億八千五百萬圓、是ハ募集ノ方デアリマス、ソレカラ交付公債ト致シマシテハ、只今法律案ヲ以チマシテ御審議ヲ願ッテ居リマスル、滿洲事件行賞ノ一時賜金ノ五千萬圓ガゴザイマス、ソレカラモウ一口、絲價安定融資擔保生絲賠償公債デゴザイマスガ、八百二十一萬二千八百八十圓、約八百萬圓ト云フモノガ交付公債デ出サレルコトニナッテ居リマス、隨テ一般會計ニ於テハ、募集ノ分ト交付ノ分ヲ合セマシテ、合計八億四千三百萬圓、是ガ一般會計ノ數字デゴザイマス、特別會計ニ於テハ、募集ノ分ト致シマシテ、

朝鮮事業公債二千九百四十七萬八千五百三十六圓、ソレカラ樺太事業公債ト致シマシテ三百五十萬圓、鐵道公債ト致シマシテ四千八百萬圓、ソレカラ通信事業公債ト致シマシテ四千四百五十九萬二千二百二十八圓等ヲ合セマシテ、大體事業公債ト致シマシテハ、特別會計ニ於テ募集スル分ガ九千五百萬圓デゴザイマス、ソレカラ特別會計ニ於テ、是ハ別途法律案ニ依リマシテ御審議ヲ願ッテ居リマスガ、交付公債ノ分ト致シマシテ、臺灣總督府ニ於キマシテ、粗製樟腦ノ製造事業ノ補償ニ要スル公債トシテ、三百四十七萬四千二百圓ト云フモノガゴザイマス、合セテ特別會計ニ付キマシテハ、募集ノ分ト交付ノ分ヲ合セテ九千九百萬圓、以上申述ベマシタノガ特別會計ノ分デゴザイマスガ、前ニ申上ゲマシタ一般會計ノ分ト合セマシテ、總計九億四千二百萬圓ノ公債、斯ウ云フ風ニ豫定サレテ居リマス

○小笠原委員 大變明瞭ニナリマシタガ、尙ホ將來追加豫算等デ出ス御豫定ニナッテ居ルモノハ外ニゴザイマセヌカ、若シアリスレバ、此際御明答下サレバ結構デアリマス

○荒川政府委員 先程申上ゲマシタ數字ノ外ニ、御承知ノ通り帝國鐵道特別會計ニ

於テ、私設鐵道ノ買收ノ補償ニ要シマスル交付公債ト云フノガ約八百萬圓ゴザイマス、其他追加豫算トシテ、下ノ位ノ公債ガ要ルグラウカト云フ御尋デゴザイマスガ、追加豫算ノ點ニ付キマシテハ、マダ下ノ位デアルカト云フコトハ見當ガ付キマセヌ

○小笠原委員 是ハ御返事ノナイノハ今ノ場合已ムヲ得ヌガ、第二ニ御伺シタイノハ、先般海軍豫算ノ方ヘ振向ケラレタ、大藏省所管ノ滿洲事件費一千萬圓ノ問題デアリマスガ、アレハ將來ナクテ済ム御考デアリマスルカ、ソレトモ又當時豫算ヲ取纏メル都合上、ア、云フ風ニ決定シテ置イタガ、併シ將來追加豫算ヲ免レナイト云フヤウナ御見込デアリマセウカ、此點ハ一ツ率直ニ大藏省ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○堀切政府委員 只今ノ所ハ追加豫算ヲ出サナイデ、アレデ賄ヒ得ルト考ヘマスガ、併シ滿洲事件ノコトデゴザイマスルカラ、今後如何ナル事變ガ突發スルヤモ測リ難イノデアリマシテ、絕對ニ其必要ナシトモ御返事申上ゲ兼ネル次第デアリマス

○小笠原委員 其次ニ御伺シタイノハ、昨年ノ十二月二日大角海相ヨリ閣議ニ提出シタ覺書ヲ見マスルト、所謂單價切詰ニ對シマシテ、今回承認セラレタル豫算ノ單價ハ

相當切詰メアルヲ以テ工事續行上不足ヲ來ス場合ニ於テハ其補填ノ爲メ豫算ノ追加ヲ爲スモノトス」斯ウ云フ覺書ガ提出セラレテ居ルノデアリマスガ、將來物價騰貴ノ場合ニ追加豫算ノ請求ガ起ルノハ、是ハ當然デアリ、先例モアルコト、又國策遂行上是ハサウシナケレバナラヌコトデアリマシテ、特ニ閣議ニマデ斯ウ云フ覺書ヲサレルニモ及バナイカト思フノデアリマスルガ、何カ斯ウ云フ特別ニ念ヲ入レル必要ガアッタノカドウカ、ソレトモ大藏省ノ單價切詰ガ恐ロシク嚴重デ、追加豫算ノ請求ガ到底免レルモノデハナイト云フコトガ豫見セラレテ居ッタノデハナイカ、此點ニ付テモ一ツ政府ノ見ル所ヲ率直ニ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○堀切政府委員 此覺書ハ海軍大臣カラ御出シニナリマシタノデ、何故ニ左様ナモノヲ御出シニナッタカハ、大藏當局トシテハ御説明申上ゲ兼ネマス、是ハ海軍大臣ニ御尋下スツタ方ガ適當カト考ヘマス

○小笠原委員 ソレデハ大藏當局ニ對スル其點ノ質問ハ止メマシテ、引續キ御伺シタイノハ、本年度ノ豫算ノ編成ニ當ッテ、大藏大臣ガ一般會計ニ於テ七億八千五百萬圓以上ノ公債發行ニハ同意ヲセヌト云フノデ、

斷乎トシテ財政上ノ生命線ヲ堅守セラレタ
コトハ、洵ニ私共ノ敬服措ク能ハザル所デ
アリマスルガ、併シ私共方見ル所ニ依リマ
スルト、今後陸海軍ノ國防費ト云フモノハ、
年々増加コソスレ、決シテ減少スルモノデ
ハナイ、殊ニ海軍豫算ノ如キハ船艦維持費
ヲ伴フノデ、後年度ニ益々膨脹スル素因ヲ
有ッテ居ルト思フ、内田サンガ言ハレタヤウ
ニ、是ハモウ三年經テバ六億位計上シナケ
レバナラヌヤウニナルカモ知レナイ、又滿
洲事件ニ致シマシテモ、マサカ滿洲國ノ歲
出ニ之ヲ移スト云フコトハ出來ナイ、形ハ
變ッテモ矢張金額ニハ大シタ減少ヲ見ナイ、
隨テ斯ウ云フ金額モ相當計上サレルノデハ
ナイカト思フ、又時局匡救費ニ付テモ、農
漁山村ノ現状カラ見テ、昭和九年度ダケデ
全然之ヲ打切ルト云フコトハ出來ナイト思
フ、現ニ最近デハ本年度ダケデ打切ルモノ
デナイト云フコトヲ仰シヤッテ居ルヤウデ
アリマス、其外米價對策デアルトカ、蠶絲
對策トカ澤山アッテ、今後巨額ノ國費ヲ要ス
ルコト、思ヒマスガ、サウスルト日本ノ財
政ハ膨脹スル一方デ、將來多額ノ赤字公債
ヲ發行シナケレバナラヌコトニナルガラウ
ト思フ、將來ノコトハ將來ノコトダカラ、
其時ノコトデアルト云ヘバ、ソレマデマア

ルケレドモ、國民トシテハ豫メ是等ニ對ス
ル何等カ確固タル財政上ノ見透シヲ付ケテ
貰ハナケレバ、此赤字公債ヲ審議スルニ付
テモ安心ガ出來兼ネルヤウニ考ヘル、是ハ
或ハ大藏大臣デナケレバ御答辯ガ困難カト
思ヒマスガ、尙ホ政府ノ御所見ヲ伺フコト
ガ出來レバ結構デアリマス

○堀切政府委員

洵ニ御説ノ如ク、吾々モ
日本ノ財政ノ前途容易ナラヌコトデアルト
考ヘテ居リマス、併ナガラ一番ノ難關ハ、
何ト申シマシテモ、三十六年ヲ控ヘテ居ル
コトデアリマスカラ、或ル程度マデ進ンデ
行キマスルト、其先ハ無限ニ國防或ハ滿洲
事件費等モ、増加致スモノデモナカラウト
考ヘマス、一面時局匡救費ノ如キハ、大ニ
是ハ減ズル、現在ノ豫定デハ、九年度迄デ
一先ヅ打切リニナル筈デアリマスルガ、全
然打切ニナラナイニシテモ、ズント是ハ減
少スルコトハ明カデアリマシテ、滿洲事件
費モ現ニ相當ニ減ッテ居リマス、一面政府及
ビ國民ノ協力ノ結果、經濟界ガ好クナッテ參
リマスレバ、自然增收モ大ニ殖エ、現ニ殖
エテ參リマスルガ、更ニ又一層殖エルガラ
ウト思ヒマス、又或ル場合ニハ増稅ト云フ
コトモ是ハ必至ノ勢ヒガラウト思ヒマスカ
ラ、旁々モウ日本ノ財政モ、今後ノ遺方ノ

如何ニ依ッテハ、ヤレナイト云フ譯デハ決シ
テナカラウト思ヒマス、併ナガラ何分國防
ヲ始メ時局匡救、農村ノ振興、其他種々ノ
點ニ於テ、非常ニ此經費支出ノ必要ガ大デ
アリマスカラ、政府ト致シマシテハ極力儉
約ヲ致シテ、サウシテ各方面ノ已ムヲ得ザ
ル仕事ニダケ、限リアル財ヲ振向ケナケレ
バ致方ガナイト云フヤウナ時代デアリマ
ス、前途ノ見透シニ付キマシテハ、大臣デ
ナケレバ御答辯ガ全ク出來兼ネルト私共モ
考ヘマスガ、其大臣ト雖モ、亦餘リハッキ
リシタ御返事ハ申上兼ネルノデハナイカ、
之ヲ處レル次第デアリマス

○小笠原委員

其點ニ付テハ重ネテ又御尋
スルコトニ致シマシテ、今増稅ノ話モ出マ
シタカラ、其次ニ御尋シタイノハ、私共ハ
今日ノ内外ノ情勢ニ鑑ミテ、是位ノ公債發
行額ハ已ムヲ得ヌト考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、併シ此公債増發ニ依ッテ政費ヲ支辨
シテ行ッタナラバ、果シテ非常時日本ノ難局
ガ打開、解決出來ルカドウカ、前ニモ御尋
申上ゲタヤウニ、國防費及ビ國費ハ、今堀
切サンハ減ルヤウニ言ハレマスガ、私共ハ
決シテ殖エテモ減ルコトハナイト考ヘマ
ス、何レノ時ニカ必ズ是ハ、消極的ニハ徹
底的行政整理ヲヤラナケレバナラナイダラ

ウシ、積極的ニハ増稅或ハ官業ノ增收其他
デ、國庫ノ增收ヲ圖ラネバナラヌコトニナ
ルガラウト考ヘマス、サウスルト將來國民
ハ、ソレ等ノ負擔ニ堪ヘルダケノ實力ヲ養
テ置カナケレバナラナイノデハナイカ、今
日經濟界ガ稍好クナッタト云ッテ所デ、ソレ
ハホンノ一部分ノ軍需工業家トカ、對外關
係ノ事業ノ關係者デアリマシテ、大部分ハ
舊態依然タルモノデアアル、又農村ナドデ、
昨年ノ秋カラ絲價慘落ノ影響ヲ受ケマシ
テ、私共ハ農村ニ對シテハ、昭和七年ノ臨
時議會ノ召集前ト大差ナイト考ヘル、爲替
相場暴落ト、政府ノ財政「インフレーション」
ニ依ッテ、財界ガ一時好轉ノ兆ヲ見セマ
シタケレドモ、昨年冬頃以來、早クモ何ト
ナク頭ヲ押ヘラレテ居ル形デ、其點カラ自
然增收ナド多キヲ望ムコトハ寧ロ出來ヌノ
デハナイカ、寧ロ今年ノヤウニ自然增收ヲ
見込ンデ居ル歲入ナドハ、多過ギルノデハ
ナイカト私共ハ考ヘル、昭和九年度ノ豫算
ハ、比較的ニ國力涵養ノ方ニ費サレル金額
ガ不十分デアルカラ、此點ガ日本ノ將來ノ
財政計畫ヲヤル上ニ於テ、色々ナル困難ガ
伴ヒハセヌカト云フコトヲ懸念スルノデア
リマス、ソコデ私ノ御尋シタイノハ、政府
ハドウ云フ見地カラ、今回ノ豫算ヲ以テ非

常時日本ノ克服ガ出來ルト云フコトヲ御考ヘニナッテ居ルカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタインデアリマス、若シ克服出來ストスルナラバ、丁度亞米利加ノ「ルーズベルト」ガ、日夜大車輪トナッテ非常時局克服ニ傾倒セルヤウニ、或ハ大規模ノ産業復興、農村救済、或ハ通貨政策、公債政策等ニ新機軸ヲ

人トシテ一日モ早ク斯ウ云フ非常時カラ脱却シタイト考ヘナイ者ハナイ、ソレニ對シテ根本的ニ何等私共ガ安心ノ付ク案ガ立テラレテ居ラヌト云フノハ、洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマシテ、此非常時局克服ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○堀切政府委員 先ヅ増税ノ點デアリマス

策ヲ斷行シテ居ルノデアルガ、是ハ非常時ヲ克服スル見地カラ云ヘバ、ドウシテモ勇猛果敢ニヤラナケレバナライノデハナイカト考ヘル、私ハ昭和九年度ノ豫算ヲ見マシテ、此豫算デ果シテ日本ノ非常時局ガ克服出來ルカドウカ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガアルノデアリマス、一方ニ國防費等ニ多大ノ費用ガ要ル、而モ近イ將來ニ減額ノ見込ガナイトシタナラバ、ドウシテモ之ニ備ヘル爲ニ、他方デ經濟界ノ殷盛ヲ圖ッテ、ソレノ負擔ニ堪ヘルダケノ國力ノ培養ヲシナケレバナラヌデハナイカ、若シ政府ガ今日ノ豫算ノ程度デ足ルト御考ニナルナラバ、甚ダ失禮デアルガ其認識ガ樂觀ニ過ギラヌト御認メニナルナラバ、何故思ヒ切ッ

ガ、増税ノ力ガマダ日本ノ經濟界ニハナイト云フ御考モ一ツノ見方デアリマス、一面ニハ又早ク増税ヲヤッタ方ガ宜イ、増税モヤリ方ニ依ッテハ負擔スル力ガ十分ニアル、馬ノ背ニ荷物ヲ積ムニモ平均シテ積メバ相當載ルノデアリマスガ、片寄ッテ積ムカライカヌト云フコトヲ仰シヤッタコトモアリマシマス、ソレモ此御議論ト同様ト考ヘマス、又經費ガ非常ニ殖エル、要求ガ各方面カラ非常ニ餘計ニアッテ、殆ど大藏當局トシテハ今困ッテ居ルノデアリマスガ、之ヲ防グ爲カラ云ヘバ、増税ヲヤッタ方ガ防ギ得ルトモ考ヘマス、今ノヤウニ赤字公債デヤレバ、何デモヤレルノダト云フヤウナコトデ、大藏大臣ガチト奮發サヘスレバ財源ハ幾ラデモアルト云フコトデヤレバ、要求モ益ヒドク増加致スノデアリマスガ、此經費ハ國民自ラノ血デアリ、肉デアル、斯ウ云フコトヲ増

税ニ依ッテ直接ニ感ズレバ、無暗ニ要求スルノモ考ヘ物ダト云フコトニモ自然ナルダラウト思ヒマス、財政ノ膨脹ヲ防グ爲カラ云ヘバ、増税ト云フコトモ私共ハ確ニ有力ナル一ツノ方法ト考ヘマス、併シ一面只今ノ御所見ノ如ク、マダ其時機デナイト云フ御議論モアリマスノデ、是等ノ點私共ハ大藏大臣ノ八十年ノ經驗ニ信賴シテ(笑聲)御委セシテ居ル次第デアリマス、大藏大臣ガマダ其時機ニ非ズト言明シテ居ル以上ハ、私共之ニ對シテ異議ヲ挿ム譯ニハ參ラヌノデアリマス

方ノ方ガ非常ニ私ハ背癢ニ當ッテ居ルトモ考ヘラレマス、即チ日本ハ僅ノ犠牲ヲ拂ッテ、亞米利加ヨリモ遙ニ大ナル效果ヲ擧ゲテ居ルノデヤナイカト考ヘマス、先ヅ何故ニ日本ガ經濟的ニ比較的好ク進ンデ來テ居ルカ、惡カッタノガ回復シ掛ケテ居ル、此回復ノ有様カラ申シマスレバ殆ど亞米利加ナドノ比較デヤナイト思フノデアリマス、向フヲ廻ッテ最近歸ッタ人々、經濟會議ヲ終ヘテ、印度ヲ廻ッテ歸ッテ來タ人々ノ話ヲ聞イテ見ルト、ドウモ日本ノ景氣ガ一番好イト云フコトヲ言ヒ廻ッテ、高言シテ居ルノデアリマス、何故ニ日本ガ比較的ニ好ク行ッテ居ルカト言ヘバ、色々理由モアリマセウケレドモ、之ニハ豫算ト大ナル關係ヲ有ッテ居ルノデアリマス、第一ハ何カト申セバ、滿洲事件ガ日本ノ爲ニ有利ニ解決シテ來テ居ルト云フヤウナコトガ、日本人ノ心理狀態ニ非常ニ好イ感ジヲ與ヘテ居ル、他年ノアノ懸案ヲ今回解決出來テ、前途洋々タル望ミガアノ地ニアルト云フヤウナ好イ感ジヲ日本人ノ間ニ與ヘテ居ル、サウ云フコトヤ、或ハ歐羅巴、亞米利加ノ困ッテ居ルノハ歐洲戰爭中ニ非常ナ金ヲ使ッテシマッテ、跡始末ニ今ハ困ッテ居ルノダ、日本ノハサウデヤナイ、滿洲事件費、是ハ赤字公債デ金ハ

特ニ御伺申シタイノデアリマス、國民ハ一

ノ血デアリ、肉デアル、斯ウ云フコトヲ増

テ感服致シテ居リマセヌ、却テ日本ノ遣リ

方ノ方ガ非常ニ私ハ背癢ニ當ッテ居ルトモ

使フガ、今後ノ樂ミノアル金ヲ使ッテ居ルノ
ダト云フヤウナ點トカ、或ハ政府ガ時局匡
救費デ矢張相當ニ時局匡救モヤッテ、地方ナ
リ下層社會ニモ此金ガ廻ルヤウニ仕向ケテ
居ルト云フ點、或ハ日本ト亞米利加ノ中央
銀行ノ違ヒナド、色々ナ點カラ申シマシテ、
私共ハ是デ不況ヲ克服サレルト思フ、ソレ
ハ無論十分ニハ行キマセヌ、又歴史始ッテ以
來未曾有ノ此世界ノ不況ヲ、サウ一年ヤ二
年デ俄ニ回復スルコトハ不可能デアリマ
ス、斯ウ云フコトガ俄ニ出來ルナラバ政治
ト云フコトモ洵ニ樂ナコトデアリマスケレ
ドモ、サウ一年ヤ二年一生懸命ニヤッタカ
ラト云ッテ、是ハ中々回復出來ナイノガ
本當デヤナカラウカト思ヒマス、日本ノ豫
算ハ少イガ、考ヘヤウニ依ッテハ又力以上ニ
大キナ豫算ダト言ハレルノデアリマス、其
邊ハ程度ノ問題デアリマス、此國民ノ懷合
ニ慫ヘテ、サウシテ僅デハアルガ、僅ノ金
ヲ最モ有效ニ使ッテ、此不況ヲ出來得ルダケ
克服シタイ、政府ハ此考デ居ルノデアリマ
ス、政府ハ金額ノ割合ト效果ノ割合ト比較
致シテ見マスルト、亞米利加ナドヨリモ我
國ノ方ガ遙ニ好イ成績ヲ擧ゲテ居ルト考ヘ
マス、亞米利加ガ如何ニ餘計ナ金ヲ使フカ
ラト云ッテ、又亞米利加ノ大統領ガ思切ッ

コトヲ申シタカラト云ッテ、斯ウ云フコトニ
驚ク必要ハナイト私共ハ考ヘルノデアリマ
ス

○小笠原委員

亞米利加其他ニ對スル堀切
政府委員ノ考ト私共モ同意見デアリマス、
唯サウ云フヤウナ勢デ、勇猛果敢ニヤッテ
居ルガ、日本デハ一方國防費其他ニ非常ナ
大キナ後年度ニ負擔ヲ殘シナガラ、而モ此
負擔ニ堪ヘ得ルダケノ素地ヲ作ラナイデ進
シデ居ルカドウカト云フコトヲ御聽シテ居
ルノデ、今長々ト御説明ニナッタコトハ、私
ハ十分承知シテ居リマス、其點ヲ特ニ御伺
申上ゲテ居ルノデアリマス

○堀切政府委員

國防ニ金ヲ使フノガ經濟
界ヲ好クシナイヤウニ御考ヘデアリマス
ガ、是等モ私共多少考ガ違フノデアリマス、
或ル經濟學者ガ申シタコトガアリマス、世
界不況ノ一大原因ハ何カト云フト、各國デ
軍備縮小ヲ餘リヤルカラダ、是ハ有名ナ經濟
學者ガ申シタノデアリマス、日本ガ今軍備
ニ金ヲ使ヒマスガ、是ハ決シテ一概ニ不生
產ト云フ譯ニハ參ラスノデアリマス、即チ
此中ノ少カラザル部分ガ矢張時局匡救ニ
ナッテ、是ガ働クノデアリマス、然ラバソレ
以外ニドシナ方面ニ金ヲ使ッテ宜イカト
申シマスレバ、ソレハ餘計使フニ越シタコ

トハナイノデアリマスルガ、是ハ國民ノ懷
ロ勘定トノ相談デアリ、赤字公債ノ大小ト
ノ相談デアリマス、小笠原君ニ於テ斯ウ云
フ方面ニモウ少シ金ヲ使ッテ宜イガラウ
ト云フ御意見ガアリマシタナラバ、先ヅソ
レヲ承ッテ、サウシテソレニ御返事ヲ申上ゲ
タ方ガ宜イカト考ヘマス

○小笠原委員

國防費ニ使フコトハ云々ト云
フヤウナコトハ、國防費ハ私共モ其必要ヲ認
メテ居リ、又ソレガ今日ノ經濟界ノ若干ナリ
トモ殷盛ヲ助ケテ居ルト云フコトヲ考ヘテ
居ル者デアッテ、其點ニ對シテハ同ジコトデ
アリマス、唯私共ガ憂フル所ハ、例ヘバ農村
ニシテモ、或ハ商工業ニシテモ、根本的ノ對
策ガ樹ッテ居ラスノデアルカラ、ソレデ是等
ノ人間ガ増稅其他ノ負擔ニ堪ヘ得ルカドウ
カ、サウ云フ素地ヲ作ッテヤラナケレバナラ
ヌノデヤナイカ、ソレ等ニ對シテハ私ガ此
處ニ言ハナイデモ既ニ政友會トシテ政策モ
發表サレテ居ルコトデアッテ、左様ナコトヲ
逆襲ヲ受ケルコトハ意外千萬デアアル、政友
會ノ一員トシテモ既ニ御覽下サッテ居ルト
思フ、左様ナコトハ議論デアルカラ姑ク措
イテ、次ニ御伺シタイノハ、日本銀行ノ公債
賣却問題デアリマス、度々色々ナ所カラ質
問モ出デ答辯ニモ御慣レニナッテ居ルデア

リマセウガ、同時ニ實際問題トシテハ甚ダ
困ルノデアッテ、此點ニ對シテハ洵ニ御氣ノ
毒デアリマスルガ、私トシテ更ニ御答辯ヲ
煩シタイノデアリマス、御承知ノヤウニ日
本デハ昭和二年ノ金融恐慌以來、金融ト産
業トノ關係ト云フモノガ、纖維工業トカ、
軍需工業トカ、時局關係ノ諸事業ト云フモ
ノハ大體皆ク行ッテ居ルガ、其外ハドウモ絶
緣狀態ト云フカ、半破壞狀態ト云フカ、サ
ウ云フヤウナ工合ニナッテ居ッテ、洵ニ圓滑
ニ行ッテ居ナイ、ソコデ唯私共ハサウ云ッ
ヤウナ半破壞狀態、絶緣狀態ト云フモノガ、
政府ノ國防費ナドモ大部分含シテ居ル、所
謂政府ノ財政的「インフレ」デ市場ノ遊資ガ
殖ヘテ來テ、金利ノ低下ガ起ッテ來ル、サウ
云フヤウナコトカラ自然回復シテ行クノデ
ヤナイカト云フ風ニ心頼ミニシテ居ッタノ
デアリマスルガ、日本銀行ガドン／＼公債
ヲ賣出サレル爲ニサウ云フ趨勢ガ阻止サ
レ、一向市場遊資ハ増加シナイ、金利低下
モ一般ノ期待ノ如クデナイ爲ニ、各種産業
ハ依然トシテ、金融難ヲ續ケテ居ルト云フ
狀態デアアル、私共ノ聞ク所デハ、昨昭和八
年一月以來一年間ニ、日本銀行ガ銀行其他
ニ公債ヲ賣却シタ高ハ八億二千萬圓ニ達シ
テ居ル、而モ日本銀行ノ引受ケタ公債ノ中

デ六億六千萬圓、前カラ手持ニナッテ居ッテ公債ノ中デ一億六千萬圓、都合八億二千萬圓ノ巨額ノ公債ヲ一箇年間ニ賣出シテ居ルガ、斯ウ云ッテヤウナ公債政策ト云フモノハ、必然的ニ兌換券ノ自然ノ膨脹ヲ阻止シテ、金利ノ低下ト金融ノ緩慢、資金ノ潤澤普遍化ト云フコトヲ妨ゲル、私ハ別ニ最前亞米利加ノ話ガ出タガ、亞米利加ノヤウニ三十億弗ノ公債ヲ買上ゲナイトハ言ハナイガ、日本銀行ノ斯ウ云フヤウナ一年間ニ八億二千萬圓モ賣出スト云フ遣方ハ甚ダ度ガ過ギテ居ルモノデアッテ、實ニ日本ノ財界ヲ萎縮沈滞セシムル因ヲ爲シテ居ルモノデアルト思フ、日本銀行ノ公債賣却ハ通貨政策其他ニモ色々關係ガアッテ、一概ニ惡イトハ申シマセス、相當ノ程度デ「モデレート」ニ之ヲ行フコトハ必要ニモ考ヘルガ、斯様ナ程度ヲ越シタヤウナ公債ヲ賣出スト云フコトハ、洵ニ穩當ヲ缺イテ居ルト思フ、是ハ又御説明モアリマセウガ、私ハ今後サウ云フコトハナイヤウニ、暫ク市場金利ノ潤澤普遍化ヲ見ルマデ、相當程度ニ手控ヲサセラレタラドウデアリマセウカト云フコトヲ御尋旁、其希望ヲ述ベテ置クノデアリマス

○堀切政府委員 御尤ノ御意見ト考ヘマス、唯大藏大臣ガ豫算總會デモ或ハ本議場

デモ其點ニ付テハ申シマシタ通り、今日日本銀行デ賣出シテ居ルノハ、是ハ英米等ニ於ケル所謂「オープン・マーケット・オペレーション」ト聊カ其遣方ヲ違ヘテ、即チ濫リニ日銀ノ方カラ進ンデ賣出スノデハナイ、公債ヲ賣ッテ賈ヒタイト云フ要求ニ對シテサヘ俄ニオイソレト賣ッテヤラナイノダ、オ前サンハ何ニ一體使フカ、其用途マデヤント聞イテ、是ナラ大丈夫ダと思フ際ニ賣出スト云フヤウナ、非常ナ堅實ナ賣リ方ヲ致シテ居ルノデアリマスカラシテ、是ハ公債ヲ日本銀行ガ賣出スト云フノデハナク、民間デ寧ロ買出スノデアリマシテ、其要求ニ應ジテダケ賣ルノデ、日銀ガ自分ノ懷ロ合カラ濫リニ公債ヲ民間ニ賣拂フト云フコトハ今日ハ致サセナイノデアリマス、又昨年ノ此點ニ對スル大藏大臣ノ議會ニ於ケル御演説ト、今年ノトハ私共聽キマシテモ多少何ガ變ッテ居ルヤウニモ思ヒマス、昨年ハ歐米竝ニ「マーケット・オペレーション」デアッタラウガ、今年ハ聊カ手心ヲ加ヘテ居ルト云フコトモ御承知ノ通りデアリマス、決シテ日本銀行ヲシテ「デフレーション」ヲヤラシメヨウナド、云フ考ハナイノデアリマス、併シ如何ニ多クノ通貨ガ其國ノ市場ニ流通シテ居ルカト云フコトハ、政府當局ノ

手心モ無論與ッテ力ガアルノデアリマスガ、是ト同時ニ民間ガ自ラドレ程ノ通貨ヲ使フカ、是ガ寧ロ大ナル力ヲ持ッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、即チ民間ニ自ラ通貨ヲ使フ必要ガアルナラバ、サウ日本銀行ニ行ッテ公債ヲ買ハナクテモ宜イノデアリマス、所ガ民間デ之ヲ使ハナイデ、動モスレバ之ヲ大銀行ニ直グニ預金シテシマフ、其大銀行ハ無利息ニ日本銀行ニ持ッテ行ッテ預ケテシマフト云フコトデハ、通貨ガ殖エヤウ答ハナイノデアリマス、併シ是モ段々變ッテ參リマシテ、低金利ガ中々進マナイト仰シヤルケレドモ、知ラズ識ラズ進ンデ來テ居リマス、昨年ノ今頃ト今日ト比ベマス、餘程其點ニ變リガ生ジテ來テ居リマス、又近頃ノ新聞ヲ御覽ナサッテモ、金融緩慢ト、資本ノ投資口ニ銀行ハ困ッテ居ルト云フコトヲ屢、私共モ見聞致スノデアリマス、ドウモ絶エズ私共ニ同ジヤウナ御質問ニ打突カルノデアリマスガ、諸君ハ少シ氣ガ御早過ギルノデハナイカト思フノデアリマス、少シ氣ヲ長ク待ッテ戴ケバ、低金利モ知ラズ識ラズノ間ニ段々進ミ、又金融難ト云フ問題ハ一時ニ解決ハ困難デアリマスガ、長イ眼デ見テ居リマス、何時ノ間ニカ金融難モ克服セラレルニ至ルデアラウト、私共ハ考

ヘテ居ル次第デアリマス

○小笠原委員 ドウモ大藏大臣モ總理大臣ノヤウニ、「スロー・モーション」ニオ遣リニナルヤウデ、ソレニ對シテハ特ニ言ハナイコトニ致シマス

其次ニ伺ヒタイノハ、公債借替ノ問題デアリマスガ、大藏大臣ハ屢ニ屢、高利公債ヲ低利公債ニ借替ヘルト云フコトヲ議會デモ御辯明ニナッテ居ルノデアリマスガ、此事ハ獨リ公債利子ノ負擔ヲ輕クスルバカリデナク、金利ノ低下、産業ノ振興ノ見地カラ一日モ早ク實行ヲ望ンデ居ッタ所、今日迄少シモ其借替ガ實行サレテ居ラナイ、是ハドウ云フ譯デアリマセウ、既ニ四分公債スラ「プレミアム」ノ附イタ時勢デモアリ、且ツ公債借替ハ新規發行ト異リ、市中金融ニ何等ノ影響ヲ及ボサズ、通貨政策上ニモ一ツモ懸念ガ要ラナイト思フ、昨日政府ニ對シマシテ任意償還時期到來ノ公債調ヲ御願シテ置キマシタガ、或ハ御出來ニナッテ居ルカモ知レマセスガ、假ニ五分利公債四十六億八千萬圓ヲ一率四分ニ下ゲ得レバ、實ニ四千六百八十萬圓ノ金利支拂減額トナリ、又其内三十億圓ヲ任意償還ノ期限到來分ト見マシテモ、此借替ニ依リ年額三千萬圓ノ國費ヲ節約スルコトガ出來ル、政府ハ何ヲ

顧慮シテ其借替ノ實行ヲ躊躇シテ居ラレ
ノデアリカ、公債ノ低利借替ハ前申シマシ
タ通り市場金利ノ低下ニ役立ち、新規公債
ノ發行條件ヲ有利ナラシメ、民間ノ社債其
他ノ利廻低下ヲ助ケ、帝國財政ヲ安定強固
ナラシメ、眞ニ百利アッテ一害ナイト思ヒ
マスガ、斯ウ云フコトヲ御實行ニナラナイ
ノハ、一部金融資本家ニ不滿ナ者デモアリ、
是等ニ氣兼ねデモサレテ居ルノカ、速ニ是
ハ實行サレテハドウカト思フノデアリマ
ス、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ
○堀切政府委員 御趣意ノ點ニハ政府ニ於
キマシテモ毛頭異存ナキ所デアリマシテ、
適當ノ機會ヲ得マスレバ、一日モ早く高イ
利子ノモノハ低イ利子ニ借替ヘタイ、斯様
ニ考ヘテ居リマス

○小笠原委員 今日ノ如ク市場デ、四分利公
債ガア、云フ値段デ賣ラレテ居ル時ニ於テ
ハ、出來ルダケ早く御實行ニナル方ガ宜イ
ト考ヘルノデアリマシテ、斯ウ云フ點ハ「ス
ローモーション」デナクヤッテ戴キタイト考
ヘマス

其次ニ伺ヒタイノハ、高利外債ノ借替ニ
付テアリマス、日本ノ外債ハ四分利ヲ除
キマス、一匁五圓ノ計算デアリマスガ、
六分半利ガ二億五千四百萬圓、六分利ガ二

億三千二百萬圓、五分半利ガ二億六千四百
萬圓、五分利ガ二億八千四百萬圓、合計十億
三千百萬圓ニ上ッテ居ルヤウデアリマス、若
シ之ヲ四分利トスルナラバ、昔ノ爲替相場
デ換算シテ二千萬圓ノ利息減額ヲ來スノデ
アル、今日斯ウ云フコトニ付テモ十分ナル
御考ヲ願ハナケレバナラスノデアリマス、
是等ノ外債ハ其發行地ノ例ヘバ亞米利加等
ニ於テ低利ニ借替ヲスル、斯ウ云ッテ見タ所
デ國際情勢ニ鑑ミテ、私ハソレハ恐ラク出
來ナイグラウト考ヘル、又此十億餘ノモノ
ヲ全部舉ゲテ悉ク內國債ニ乗替ヘルト云フ
コトモ、我が財界ノ實情ト爲替政策ノ見地
カラ見テ恐ラク困難トスル所デアリマセ
ウ、併シ私ハ此際セメテ是等外貨公債ノ中
デ、所謂弗買ヒナドニ依リマシテ日本人ノ
所得ニナッテ居ルモノガ、昨日戴イタ表ニ依
リマス二億六千四百萬圓、海外所在分ガ
二億八千三百萬圓、合計五億四千八百萬圓
アルノデアリマスガ、之ヲ四分利ニ御借替
ニナッテハドウカト考ヘルノデアリマス、帝
國將來ノ爲替關係、財政關係モ考慮スルト、
誰カノ手ニ依ッテ何レカノ日ニ解決シナケ
レバナラスコトニナルノデアリマシテ、其
點カラ言フト大藏大臣ハ御見エニナッテ居
リマセヌガ、一代ノ名藏相トシテ目サレテ

居ル高橋サンガ此一事ヲ御解決ニナルト云
フコトハ、日本ノ財政ノ前途ニ對シテモ極
ク必要ナコト、考ヘルノデアリマス、之ニ
關シテ何等カ御考ニナッテ居リマスカドウ
カ、又サウ云フヤウナ風ニ一ツ實行ノ途ヲ
御付ケニナラウト云フ御考ガアルカドウ
カ、此點ヲ御伺シタイノデアリマス

○富田政府委員 外債ノ中デ日本人ノ持ッ
テ居ルモノヲ内債デ借替ヘルト云フ御意見
デアリマスガ、是ハ實行上非常ニ困難ガア
ルノデアリマス、ト申シマスノハ、今日本
デ持ッテ居ルノハ六分ノ英貨公債、六分半ノ
米貨公債、五分半ノ英米貨公債デアリマス
ガ、是ハ總テマダ償還ガ出來ナイノデアリ
マス、ソレカラソレ以外ノ公債モアリマス
ケレドモ、是ハ期限前ノ償還デアリマスカ
ラ、抽籤償還ヲ致シマス、抽籤ヲスル場合
ニ於テ内地ニ持ッテ居ル分ダケヲ當籤サセ
ルコトハ出來マセヌカラ、結局借替ハ實行
不可能ト云フコトニナルノデアリマス

○小笠原委員 ソレガ矢張法律其他ニ依ッ
テ適當ナ解決案ガアルノデハナイカト私共
考ヘマスガ、オ遣リニナルト云フ御考ガア
リサヘスレバ相當ナ途ガ付ケラレルノデハ
ナイカト思ヒマス、併シ今ノ理財局長ノ御
説明デ分リマシタガ、私共ハ機會ガアル毎

ニサウ云フコトヲ是非ヤッテ貰ヒタイ、斯ウ
云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、當局
ニ於テモ其點特ニ御注意ヲ願ヒタイと思フ
ノデアリマス、マダ私ハ御伺シタイコトモア
リマスケレドモ、外ノ方ノ關係モアリマス
ノデ、本日ハ此程度デ私ノ質問ヲ打切りマ
ス

○竹内委員長 政府ヘ御相談致シマスガ、大
藏大臣ノ御出席ヲ待ッテ質問シタイト云フ
方ガ中々多イノデアリマス、相當問題モ多
イト思ヒマスルガ、出來ルダケ大藏大臣ニ
モ御都合願ッテ御出席ヲ要求シタイと思ヒ
マスガ、如何デセウカ
○堀切政府委員 大藏大臣ニ出來ルダケサ
ウ云フコトニシテ戴キタイト私共考ヘテ居
リマス

○竹内委員長 サウスルト明後日、或ハ大
藏大臣ノ御都合ニ依ッテハ明日開會シテモ
宜シウゴザイマスガ、此際散會前ニ大藏大
臣ノ御意向ヲ一ツ御確メ下サル譯ニハ行キ
マスマイカ
○堀切政府委員 畏リマシタ、一寸行ッテ開
イテ參リマスカラ……

○松實委員 私ハ材料ノコトニ付テ一寸御
伺シタイノデスガ、昭和七年度末現在各種
銀行預金貸出高地方別調、此表ノ中デ北海

道ニ本店ヲ有シテ居ル銀行ト、ソレカラ北海道ニ本店ヲ持ッテ居ラズ、府縣ヨリ出張店、支店ヲ出シテ居ル銀行トノ金額ノ區別ヲ知リタイト思フノデアリマスガ、其御調ガ出來ルナラバドウゾ御願ヲシタイ、ソレカラ次ハ大藏省關係デハナイト思フノデアリマスガ、政府ノ方デ火災保險ト生命保險ノ北海道ニ關スル調査ヲシテ貰ヒタイト思フノデス、ソレハ詰リ北海道カラ火災生命ニ應募シタ金額及ビソレ等ノ保險會社カラ北海道ニ貸出シタ金額ノ區別ヲ調べテ貰ヒタイ、ソレカラモウツハ預金部ノ關係デアリマスガ、郵便貯金ノ北海道ノ分ガ何程アッテ、預金部ガ運用シテ北海道ヘ貸出シテ居ル金額ガ何程アルカト云フコトガ、御分リニナレバ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○荒川政府委員 火災保險ト生命保險ノ方ハ商工省デアリマスカラ、委員長ヨリ然ルベク御傳達ヲ願ヒタイト思ヒマス

○竹内委員長 承知シマシタ

○田中委員 私ハ材料ヲ少シ御願シタイト思ヒマス、第一ハ昭和六年十一月以降日本銀行ノ政府證券所有高月別調、第二、同じ昭和六年十一月以降日本銀行ノ政府證券引受賣却月別調、賣却先ハヤハリ民間銀行ト預金部トデ宜シウゴザイマス、第三、昭

和六年十一月以降政府證券發行借替償還月別調、此三ツニ付キマシテハ最近ノモノハ此處デ戴キマシタノデスガ、少シ日附ヲ選リマシタカラ御迷惑デモ御願致シマス、第四、昭和六年十一月以降日本銀行ノ兌換券發行高、政府預金、民間預金月別調、是ハ月半ト月末デモ結構デゴザイマスシ、月半ト週末デモ結構デゴザイマス、百萬圓位ノ單位デ宜シウゴザイマス、千圓單位ナラ尙ホ結構デゴザイマス、第五、昭和六年十一月以降日本銀行ノ割引歩合、ソレカラ普通銀行預金利率、郵便貯金利率、其日附ガ下リマシタ經路ヲ御願致シマス、第六、昭和六年下半年期以降銀行、信託會社、保險會社ノ公債、社債、株式所有高調、第七、昭和六年十一月以降地方債、社債發行借替償還額及ビ利子低下調、低利ニ借替ヘマシタ模様ガ見タイノデアリマス、第八、昭和六年十一月以降組合銀行ノ「コール」殘高月別調及ビ「コール」日歩月別調、日歩ノ方ハ平均デモ宜シウゴザイマスシ、最高、最低デモ宜シウゴザイマス、第九ニ、本邦在外資金調、其中デ民間所有ノ分ハ既ニ御提出ニナリマシタノデアリマスガ、政府所有ノ分ガ漏レテ居リマスカラ、政府所有ノ分ダケデ結構デアリマス、御迷惑デセウガ、是ダケヲ

御願致シマス

○竹内委員長 政府カラノ御申出ニ依ルト、大藏大臣ハ明日午前十時ニハ御出席出來ルト云フコトデアリマスルカラ、明日モ午前十時カラ引續イテ開會スルコトニ致シマス、豫メ御承知置キテ願ヒマス——材料要求ガ隨分澤山出マスガ、大概ノ所デモウ打切ッテ宜カラウト思ヒマスルガ、此際尙ホ御要求爲サル方ガアリマシタラ、御遠慮ナク御申出ヲ願ヒマス——ソレデハ本日ハ此程度デ散會致シマス

午前十一時四十二分散會